



# STERAPORE™ 5000 Series

H O L L O W F I B E R M E M B R A N E M O D U L E S T E R A P O R E

三菱レイヨン株式会社 アクア事業部 メンブレン部  
〒100-8253 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル  
TEL:(03)6748-7581 FAX:(03)3286-1387  
E-mail:membrane@mrc.co.jp  
ホームページ <http://www.mrc.co.jp/sterapore/>



限りある水資源、大切な水環境を守る新しい水処理技術として、近年、「膜分離活性汚泥法（MBR）」による水再利用技術が世界的に注目を集めています。

MBRシステムは、排水の処理水質向上による環境負荷低減の他、排水の再利用でも数多く採用されています。深刻な水不足問題を解消するため、世界中でMBRによる排水の再利用が盛んに行われています。

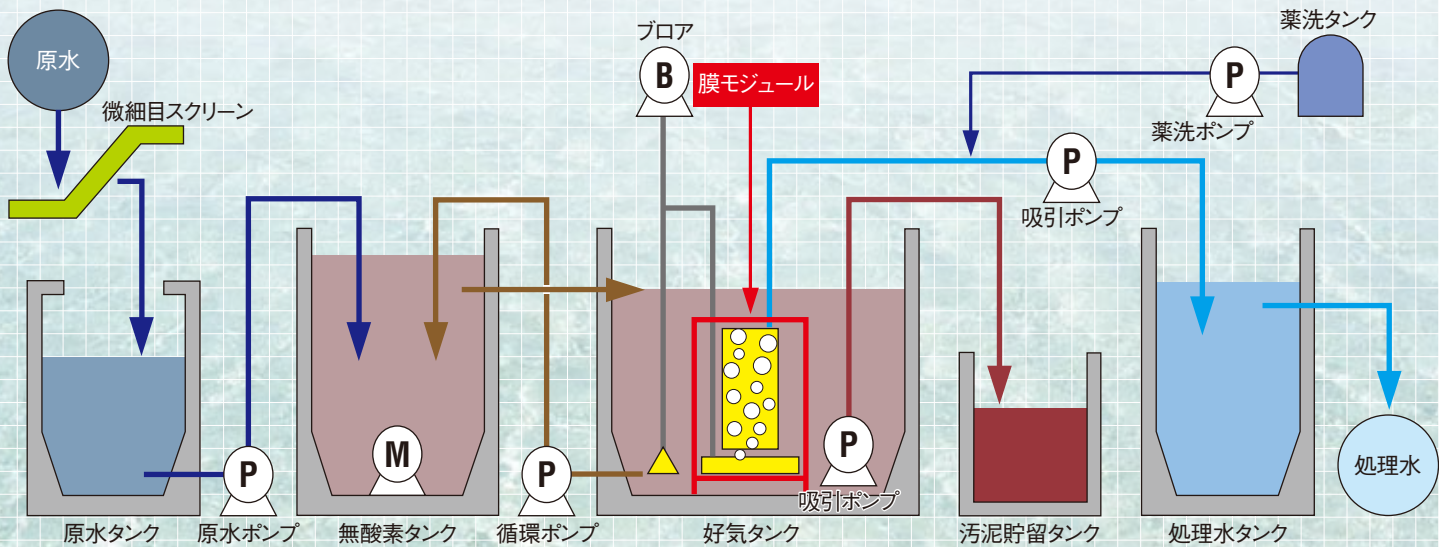
三菱レイヨンの排水処理用ステラポアー®5000シリーズは、高い透水性能・優れた耐薬品性・強い中空糸膜・容易な維持管理を実現しました。さらに、さまざまな規模の排水処理設備（数十m³/日～数十万m³/日）への対応が可能となりました。三菱レイヨンはMBRのリーディングカンパニーとして、今後ますます活発化する水再生事業に取り組んでいきます。

## ステラポアー® 5000シリーズの特長

- ①高い透水性能  
当社が開発した高フラックスPVDF製中空糸膜により、高い透水性能を実現。
- ②優れた耐薬品性  
膜素材はPVDF樹脂を採用し、耐薬品性が高く、化学的な劣化が少ないため、長期間使用可能。
- ③強い中空糸膜  
機械的強度が高いため、膜破損が少なく、処理水に汚濁物質（SSなど）が流出しにくい構造。
- ④維持管理が容易  
耐薬品性に優れたPVDF樹脂の採用により、メンテナンスクリーニング及びリカバリークリーニングで十分な洗浄効果が得られる。

## MBRのフロー例

### 循環式硝化脱窒法＋膜分離活性汚泥法



※このフロー図は、ステラポアー®5000シリーズの膜モジュールを用いた排水処理の一例を示したものです。

## 標準エレメント仕様

型番		50E0006SM	50E0015SA	50E0025SA
公称孔径／μm		0.4		
膜外径／mm		2.8		
エレメント寸法／mm		1,015×600×30	1,300×1,250×30	2,000×1,250×30
乾燥重量／kg		5	11	15
有効膜面積／m <sup>2</sup>		6	15	25
材質	中空糸膜	PVDF		
	集水管	ABS樹脂		
	シール材質	ポリウレタン樹脂		
	支柱	SUS304		
常用差圧		初期差圧+15kPa 以下		
最低適用水深／m		2	3	3.5
常用使用温度／℃		0～40(凍結させないこと)		



## 標準モジュール仕様

型番	50M0048SS	50M0300SP	50M0500SP
サイズ（D×W×H/mm）	750×660×1,890	1,610×1,560×2,430	1,610×1,560×3,130
エレメント枚数／枚	50E0006SM×8	50E0015SA×20	50E0025SA×20
乾燥重量／kg	約120	約700	約850
有効膜面積／㎡	48	300	500
標準処理量／㎡/日＊	10～35	60～240	100～400
適用水深／m	2	3	3.5
ヘッダー材質	SUS304、ABS樹脂		
フレーム材質	SUS304		
備考	ゴムスリットタイプ散気管付 単管タイプ散気管付		

＊：標準処理量は、原水の種類、水温、設備運営方針などによって、適正値が異なります。  
※上記仕様以外のモジュールも用意しています。詳しくはお問い合わせください。



ステラポアー®5000シリーズ、装置及びこれに関する技術情報は、輸出貿易管理令等の規制対象品目となることがあります。輸出の際、規制対象品目に該当する場合は貴社の責任において、輸出許可申請等所定の手続きをおとりくださいますようお願いいたします。



### ご注意

ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みください。  
製品の形状、仕様等は改良のため予告なく変更されることがあります。